

公益社団法人日本地震工学会 第52回理事会議事録

A.日時：2021年6月18日（金） 16時00分～19時45分

B.場所：建築会館会議室、ZOOM併用によるハイブリッド会議

C.出席者：（会長）清野純史，（副会長）山中浩明，藤田 聡，松岡昌志

（担当理事）米澤健次，西村拓也，樋口俊一，古屋 治，隈本邦彦，久保智弘，
鳥澤一晃，池田隆明，能島暢呂，松島信一，市村 強，肥田剛典，
近藤伸也

（監事） 五十田博，末富岩男

（ESG-6 幹事長）東 貞成

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長，小松康典事務局員

D.議題および提出資料：

議題

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) 役員の自己紹介（全員） | 資料 52-01 |
| 2) 今年度理事会体制と役員の分掌（米澤理事） | 資料 52-02 |
| 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（米澤理事） | 資料 52-03 |

報告事項

- | | |
|-------------------------------------------|----------|
| 1) 第51回理事会議事録（案）確認（米澤理事） | 資料 52-04 |
| 2) 第9回社員総会議事録（案）確認（米澤理事） | 資料 52-05 |
| 3) 臨時理事会議事録（案）確認（米澤理事） | 資料 52-06 |
| 4) 令和3年度事業計画（米澤理事） | 資料 52-07 |
| 5) 令和3年度予算（樋口理事） | 資料 52-08 |
| 6) 創立20周年記念式典開催の報告（米澤理事） | 資料 52-09 |
| 7) 会務報告（米澤理事） | 資料 52-10 |
| 8) 会計報告（樋口理事） | 資料 52-11 |
| 9) 総務部会からの報告（米澤理事） | 資料 52-12 |
| 10) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 52-13 |
| 11) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 52-14 |
| 12) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事） | 資料 52-15 |
| 13) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事） | 資料 52-16 |
| 14) 論文集編集委員会からの報告（能島理事） | 資料 52-17 |
| 15) 事業企画委員会（企画）からの報告（肥田理事） | 資料 52-18 |
| 16) 17WCEE 運営委員会からの報告（清野会長） | 資料なし |
| 17) ESG-6 国際シンポジウム運営委員会からの報告（東 ESG-6 幹事長） | 資料 52-20 |
| 18) 2021年度大会に関する報告（市村理事・松島理事） | 資料なし |
| 19) 将来構想委員会からの報告（山中副会長） | 資料 52-22 |
| 20) メール審議（2件）結果報告（米澤理事） | 資料 52-23 |

議案

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（西村理事） | 資料 52-24 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（米澤理事） | 資料 52-25 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事） | 資料 52-26 |
| 第4号 新規研究委員会（略称：地盤反力）の設置（松岡副会長） | 資料 52-27 |

懇談事項

- | | |
|-----------------------------------------|----------|
| 1) 海外からの会費支払いの際の国際送金について（樋口理事、戸田事務局長） | 資料 52-28 |
| 2) 女川原子力発電所地震観測記録について（米澤理事、小松事務局長） | 資料 52-29 |
| 3) 新規研究委員会の企画案の募集案内について（松岡副会長） | 資料 52-30 |
| 4) 新規研究委員会の出版物について（米澤理事） | 資料 52-31 |
| 5) 就業規則について（米澤理事） | 資料 52-32 |
| 6) 創立 20 周年記念式典の HP 動画配信について（米澤理事・久保理事） | 資料 52-33 |
| 7) 今後の予定について（米澤理事） | 資料 52-34 |
| 8) 防災学術連携体の幹事の公募について（樋口理事） | 資料 52-35 |

E.議事録：

議題

- 1) 役員の自己紹介（全員）
 - ・ 出席役員の自己紹介および資料 52-01 に基づいて名簿の確認が行われた。
- 2) 今年度理事会体制と役員の分掌（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-02 に基づいて理事会体制と役員の分掌の説明がなされ、異議なく承認された。ただし、大会実行委員会および優秀発表賞選考委員会の委員長は、松島理事から市村理事に修正する。
- 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-03 に基づいて今年度の理事会の日程、進め方、その他の行事予定の説明がなされた。来年の社員総会は 5/24 であり、建築会館を予約しているとの説明がなされた。

報告事項

- 1) 第 51 回理事会議事録（案）確認（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-04 に基づいて第 51 回理事会議事録の確認が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- 2) 第 9 回社員総会議事録（案）確認（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-05 に基づいて第 9 回社員総会議事録（案）の説明が行われた。
 - ・ 議長選任の経過に関する記載について、司会担当の理事を中村理事から徳光理事に修正する。
- 3) 臨時理事会議事録（案）確認（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-06 に基づいて臨時理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 4) 令和 3 年度事業計画（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-07 に基づいて本年度の事業計画について説明がなされ、異議なく承認された。
- 5) 令和 3 年度予算（樋口理事）
 - ・ 樋口理事より資料 52-08 に基づいて本年度の予算について説明がなされ、異議なく承認された。
- 6) 創立 20 周年記念式典開催の報告（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-09 に基づいて創立 20 周年記念式典開催の報告がなされた。
- 7) 会務報告（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 52-10 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 8) 会計報告（樋口理事）
 - ・ 樋口理事より資料 52-11 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 9) 総務部会からの報告（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 52-12 に基づいて総務部会の引き継ぎ事項について説明がなされた。
 - ・ 小松事務局員の後任を今年9月から公募し、新任局員の方への事務局業務に関する引継ぎが必要である。
 - ・ 次回の日本地震工学シンポジウム（16JEES）の委員長および幹事長の推薦について、建築学会事務局に打診し、6/4 に依頼状を送付した。
 - ・ 積立金は JEES の準備金では使われているが、その他はあまり使われていないとの説明があった。積立金を使えるところは有効活用すべきであるとの意見があった。
 - ・ 関東大震災 100 周年記念事業の地震学会の担当は決まっているのか？との質問があり、まだ決まっておらず、次回の地震学会との会長懇親会で決定することとなっているとの回答があった。
- 10) 広報部会からの報告（隈本理事）
- ・ 隈本理事より資料 52-13 に基づいて、広報部会の活動について報告がなされた。
 - ・ 令和2年度名誉会員推挙式および各賞表彰式、創立 20 周年記念式典のオンライン開催について支援を行った。
 - ・ 表彰式および式典の動画は事務局が保有している。視聴してほしい人が決まれば、動画を公開することが可能である。
 - ・ 来年度もオンライン開催の場合は支援をお願いしたいとの意見があった。
- 11) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
- ・ 久保理事より資料 52-14 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ メールニュース巻頭言について、今年度より就任された理事を中心に執筆を依頼する。担当の前月初めに執筆フォーマットを連絡する。
 - ・ アーカイブ化に関して、記事として興味深いと思われる震災予防協会の資料や地震工学ニュースなどの公開について検討してはどうかとの意見があった。
- 12) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事）
- ・ 鳥澤理事より資料 52-15 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 会議前だけでなく会議後の特集はないのかとの質問があった。17WCEE は 45 号での特集を考えている。ESG-6 については未定である。
 - ・ ESG-6 の開催は 8 月であり、開催時までには開催後の特集を組むのかが分かれば、アクションを起こすことができるので、その前までにどうするかを知らせてほしいとの意見があった。
- 13) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事）
- ・ 池田理事より資料 52-16 に基づいて、国際委員会、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。
- 14) 論文集編集委員会からの報告（能島理事）
- ・ 能島理事より資料 52-17 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 英文号では日本語から翻訳した英文の論文とオリジナルが英文の論文が同じ号に掲載されるのか？との質問があった。これらはいずれも同じ号に掲載されるとの回答があった。
 - ・ 日本語から翻訳した英文の論文はどこを見ればわかるのかとの質問があった。論文の最後を見れば翻訳した英文であることがわかるようになっているとの回答があった。
- 15) 事業企画委員会（企画）からの報告（肥田理事）
- ・ 肥田理事より資料 52-18 に基づいて、事業企画委員会（企画）の今年度の活動予定やオンライン講習会について報告がなされた。
 - ・ オンライン講習会は非常に有効なツールであり、継続的に開催してほしいという意見があった。
 - ・ オンライン講習会の受付締め切り時期について質問があり、開催直前まで受講を受け付け、受

講を事務局側で断った事例はなかったとの回答があった。

16) 17WCEE 運営委員会からの報告 (清野会長)

- ・ 清野会長より、17WCEE 運営委員会に関する報告がなされた。
- ・ 開催1週間より視聴者は発表動画を見ることができ、かつ意見することができる。オーラルおよびオーガナイズドセッションは時間が決まったオンライン形式もしくはハイブリッド形式のいずれかの方法となる。163セッションのうち、半分はハイブリッドとなる予定。
- ・ 従来のポスターセッションは162セッションあり、動画等によるオンデマンドで開催される。
- ・ ぜひとも発表したい人には2〜3分だけ話すことができるフラッシュトークというものがある。
- ・ Gala Dinner は中止となった。
- ・ 詳細はWEB ページに掲載されている。

17) ESG-6 国際シンポジウム運営委員会からの報告 (東 ESG-6 幹事長)

- ・ 東 ESG-6 幹事長より資料 52-20 に基づいて、ESG-6 国際シンポジウム運営委員会について報告がなされた。
- ・ 初日はハイブリッド形式、2・3 日目はオンライン形式で開催される。
- ・ 予算はいくらかという質問があり、支出は 810 万円、うち事務局経費は 50 万円程度とし、参加者は 175 名と想定し、各種助成金 200 万円を含み、収入を 810 万円と見込んでいるとの回答があった。

18) 2021 年度大会に関する報告 (市村理事・松島理事)

- ・ 2021 年度大会についての報告ならびに開催に関する提案がなされた。
- ・ 開催内容は昨年度と同様とし、日程を 11/30〜12/1 とする案が示され、承認された。
- ・ 昨年度と同様に防災ログに今年もオンライン開催のサポートをお願いする案が示され、承認された。
- ・ 昨年度の経験を活かし、今年は時間配分に余裕をもたせ、また発表者の練習機会を適切に設ければ状況は昨年度より改善されるとの意見があった。
- ・ 社員総会で学会賞の表彰式を行ったので、大会で表彰式は考えなくてよい。
- ・ 参加者の増加を期待し、最小原稿枚数は 4 枚から 2 枚に変更する案が示され、承認された。

19) 将来構想委員会からの報告 (山中副会長)

- ・ 山中副会長より資料 52-22 に基づいて、将来構想委員会の活動について報告がなされた。
- ・ 次回 8/3 の理事会にて将来像検討 WG のメンバーから WG の成果について説明されることとなった。理事会での議論を踏まえて、最終的な報告書を作成する予定である。

20) メール審議 (2 件) 結果報告 (米澤理事)

- ・ 米澤理事より資料 52-23 に基づいて、メール審議 (2 件) の結果について報告がなされた。

議 案

第 1 号 入退会者 (西村理事)

- ・ 西村理事より資料 52-24 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者および退会者に関して、特に異議なく承認された。資格停止者への対応について質問があり、資格停止者へは会誌の配送停止、ニュースレターの配信が停止される等の各種のサービスが停止されるとの回答があった。

第 2 号 委員会委員の委嘱 (米澤理事)

- ・ 米澤理事より資料 52-25 に基づいて委員会委員の委嘱の説明がなされた。各委員の委嘱について承認された。
- ・ 中埜元会長の IAEE の副会長の任期延長および National Delegate(ND)の継続が承認された。ま

た、その他の外部委員会の委員についても承認された。なお、地震学会強震動委員会協力員については、日本学術会議主催ではないため、表中の日本学術会議の記載を削除することとした。（後日、米澤理事より外部委員会名簿の修正版が送付された）

第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 52-26 に基づいて後援 1 件、協賛 1 件が報告され、異議なく承認された。

第4号 新規研究委員会（略称：地盤反力）の設置（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 52-27 に基づき新規研究委員会（略称：地盤反力）の設置について説明がなされた。
- ・ 新規研究委員会（略称：地盤反力）の設置は承認された。ただし、学会および学会会員への貢献を考え、成果の公表方法については、シンポジウムの開催、本会論文集への投稿も検討いただくように研究統括委員会から新規研究委員会へお願いすることとなった。また、委員会設置期間の日時については、本理事会による承認後へと変更することとした。

懇談事項

1) 海外からの会費支払いの際の国際送金について（樋口理事、戸田事務局長）

- ・ 樋口理事、戸田事務局長より資料 52-28 に基づき、海外からの会費支払いの際の国際送金について説明がなされた。国際送金にてペイパルを導入することにより、手数料は安定した金額となり、支払者もクレジットカードの支払いにより手続きが簡単になった。国内会員の会費や講習会等のカード決済の可能性も調査中であり、次回の理事会にてできれば報告する。
- ・ カード決済については一度導入できれば手間が減ると思われるとの意見があった。
- ・ カード決済では、見積書、納品書および請求書の発行への対応ができないのが現状の課題である。
- ・ 今後は東南アジアとの連携が不可避であり、そうなるとカード決済が必要な局面が考えられるとの意見があった。
- ・ カード決済については今後も検討を進めることになった。

2) 女川原子力発電所地震観測記録について（米澤理事、小松事務局長）

- ・ 米澤理事、小松事務局長より資料 52-29 に基づき、女川原子力発電所地震観測記録のこれまで経緯と今後の対応案について説明がなされた。
- ・ 今後の対応案等についての意見はなく、東北電力殿にお伺いを立てたうえで、内容が分かるようにホームページに明記して頒布を再開させることになった。

3) 新規研究委員会の企画案の募集案内について（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 52-30 に基づき、新規研究委員会の企画案の募集案内について説明がなされた。
- ・ ホームページにおける新規研究委員会の企画案の募集ページについて、「ご提案いただく内容（形式は自由）」のこれまでの各項目に加え、研究委員会の設置期間、成果の公表方法、初年度の必要予算も項目に追加すること、また、応募用の定型フォーマット（資料 52-30-2）を用意し、ダウンロードできるように修正することが提案された。
- ・ 推奨される成果の公表方法、例えばシンポジウム開催や論文集投稿等を応募フォーマットやホームページに示しておけばよいとの意見があった。
- ・ 修正提案は承認された。また、推奨される成果の公表方法をホームページに記載することになった。

4) 新規研究委員会の出版物について（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 52-31 に基づき、新規研究委員会の出版物について説明がなされた。
- ・ 書籍化には相当時間が必要となるので、研究委員会の成果として、シンポジウム、あるいはワークショップを開催するという形式はどうかとの意見があった。
- ・ 個人名で出版するのか、学会名で出版するのかを早い段階ではっきり決めておく必要があるとの意見があった。
- ・ 学会名で出版するとなると、学会としての責任も生じることとなるとの意見があった。
- ・ 日本地震工学会からは書籍化の資金を提供しないこと、また、個人名で出版するなら地震工学会としては問題とならないことを松岡副会長から小山先生へ確認することとなった。

5) 就業規則について（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 52-32 に基づき、就業規則について説明がなされた。
- ・ 戸田事務局長との雇用契約を結ぶにあたり、就業規則が必要となったため、厚生省のテンプレートならびにこれまでのパートタイマー就業規則を元に案を作成した。
- ・ パートタイマーを対象とした就業規則は残るのかとの質問があり、パートタイマーの就業規則は残るとの回答があった。
- ・ 各理事にて内容を確認し、修正事項等があれば米澤理事へ連絡することとなった。次回の理事会にて議案として承認を得る予定である。

6) 創立 20 周年記念式典の HP 動画配信について（米澤理事・久保理事）

- ・ 米澤理事、久保理事より資料 52-33 に基づき、創立 20 周年記念式典の HP 動画配信について説明がなされた。
- ・ 著作権があり、挨拶も含めて動画配信で登壇される方々には承認を得る必要があるとの意見があった。
- ・ **You Tube** で検索できないようにすることが可能である。会員限定として希望者にアドレスを教えるという方法で配信を行う方法が考えられる。
- ・ サーバー上にデータをおいての動画公開は、容量が大きすぎるためサーバー利用の経済的な観点から非現実である。
- ・ **You Tube** で公開する場合にはダウンロードが出来てしまい、著作権上問題がないかとの意見があった。ダウンロードについては出来ないようにしてもすり抜ける技術があるとの回答があった。
- ・ 式典全部ではなく、一部の公開とするかの検討が必要であり、動画を切り分けることも考慮する必要があるとの意見があった。一案として、学会長挨拶および **PD** を公開するというのもあるのでないかとの意見があった。
- ・ できるだけ早くに配信するほうがよいため、簡単な方向で実施できるように検討することとなった。会員限定の希望者のみへの配信を前提として、久保理事および限本理事にどこまで動画を出せるかを相談し、その結果を各理事へ連絡することとなった。

7) 今後の予定について（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 52-34 に基づき、今後の予定について説明がなされた。
- ・ 震災対策技術展（大阪）は 8 月開催へ変更となった。
- ・ 今年 6 月、12 月に英語論文集が発刊されるので、その予定を追記することとなった。
- ・ 修正追記があれば米澤理事へ連絡することとなった。

5) 防災学術連携体の幹事の公募について（樋口理事）

- ・ 樋口理事より資料 52-35 に基づき、防災学術連携体の幹事の公募について説明がなされた。
- ・ 連携委員が防災学術連携体の幹事となると、連携委員の業務がさらに増えることとなってしまふとの意見があった。

- ・ 現段階では防災学術連携体の幹事に地震工学会からの人材を出さないということになった。

次回予定：第53回理事会 8月3日（火）16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 清野 純史

監事 五十田 博

監事 末富 岩 男